

2022年度 濃縮事業部
防災訓練実施計画書
(案)

日本原燃株式会社
濃 縮 事 業 部

2022年度 加工施設 防災訓練実施計画書（第1部）

1. 訓練目的

本訓練は、「濃縮・埋設事業所 濃縮事業部 原子力事業者防災業務計画 第2章第5節2」に基づき、原子力災害に対する緊急時対応能力の習熟・向上を図ることを目的とする。

また、本訓練は、「濃縮事業部における訓練に係る中長期計画（2022年度）」に基づき、廃棄物埋設施設との同時発災および現実的なシナリオ想定のもとで、情報発信能力および緊急時対応能力について確認する。

なお、本訓練は、「核燃料物質加工事業変更許可申請書（2017年5月17日許可取得）」記載の重大事故に至るおそれのある事故を想定事象とし、新設予定の設備・機器（新規基準対応の追加安全対策）は、存在するものとして実施する。

具体的な達成目標および検証項目は以下のとおり。

(1) 「ERCプラント班との情報共有を実施できること」

達成目標：ERC対応ブースに対して情報共有ツールを用いて、適宜情報共有できること

検証項目：提供すべき情報（事故・プラントの状況、進展予測と事故収束対応戦略および戦略の進捗状況）をリアルタイムに情報共有できること

(2) 「現場と緊急時対策所が連携できること」

達成目標：緊急時対応が適切に対応できること

検証項目：現場と緊急時対策所と連携を図り、あらかじめ定めた手順どおりに対応できること

2. 実施日時および対象施設

(1) 実施日時

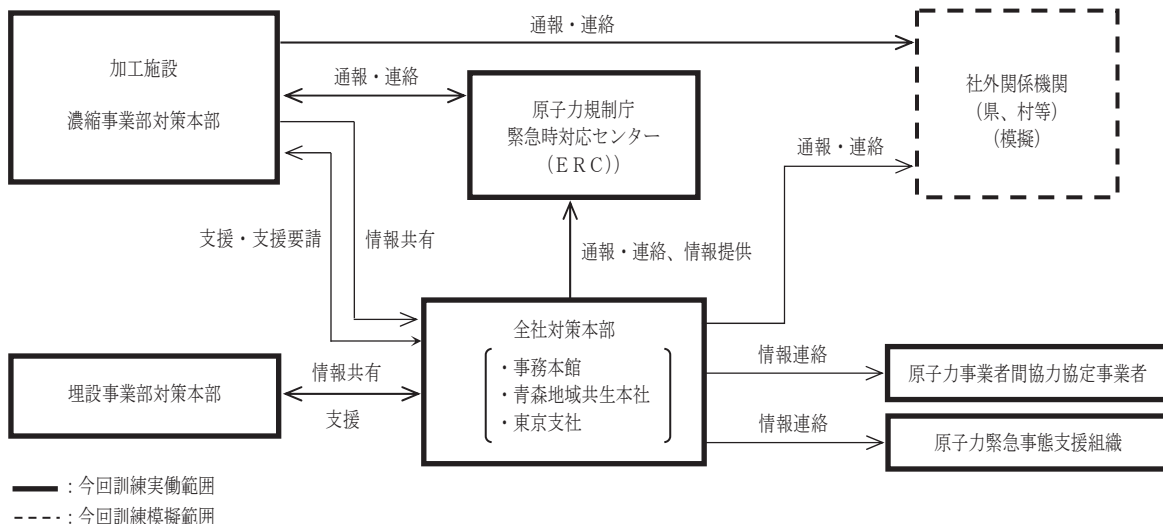
2022年11月8日（火） 9：30～12：00（予定）（反省会含む）

(2) 対象施設

加工施設

3. 実施体制、評価体制および訓練対象者

(1) 実施体制



(2) 評価体制

各活動場所に評価者を配置し、評価者による評価および訓練終了後に訓練参加者による訓練反省会等を通じて、改善事項の抽出を行う。

(3) 訓練対象者

濃縮事業部対策組織要員

4. 訓練項目

総合訓練

5. 訓練内容

(1) 通報訓練

(2) 救護訓練

(3) モニタリング訓練

(4) 避難誘導訓練

(5) その他必要とする訓練

a. 事業部対策本部対応訓練

b. 運転管理訓練

c. 放水訓練

d. 設備応急訓練

e. 消火訓練

f. 全社対策本部（E R C 対応含む）との連携訓練

6. 防災訓練のために想定した原子力災害の概要

訓練シナリオ情報を含むため非公開

訓練シナリオ情報を含むため非公開

7. 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策のため、以下の対応を実施する。

- ・ 訓練参加者（現場対応者含む）は、原則マスク着用とする。（ただし、防護具類着用時は除く。）
- ・ 緊急時対策所内で活動する要員は可能な限り人数を制限して対応するものとする。
- ・ 緊急時対策所内は換気を実施するとともに、座席には可能な範囲で仕切りを設置する。

8. 添付資料

1－（1）：加工施設 防災訓練 第1部シナリオフロー

以 上

2022年度 加工施設 防災訓練実施計画書（第2部）

1. 訓練目的

本訓練は、「濃縮・埋設事業所 濃縮事業部 原子力事業者防災業務計画 第2章第5節2」に基づき、実施するものである。

また、本訓練は、「濃縮事業部における訓練に係る中長期計画（2022年度）」に基づき、原子力災害発生時において手順に基づく情報発信ができることについて確認する。

具体的な達成目標、検証項目は以下のとおり。

(1) 「確実に通報・連絡できること」

達成目標：所定時間内での通報連絡できること

検証項目：①AL、SE、GE通報（FAX送信）は、通報文チェックツールを用いて、記載の誤記、漏れ等がなく速やかに通報できること

②25条報告を事象の進展に応じ、適切な間隔とタイミングで継続して実施できること

(2) 「事業部対策本部と全社対策本部間が情報共有できること」

達成目標：EAL判断および防災体制を発令し、全社対策本部へ情報共有できること

検証項目：適切なタイミングでEAL判断および防災体制を発令するとともに、社内情報共有ツールにより情報共有できること

2. 実施日時および対象施設

(1) 実施日時

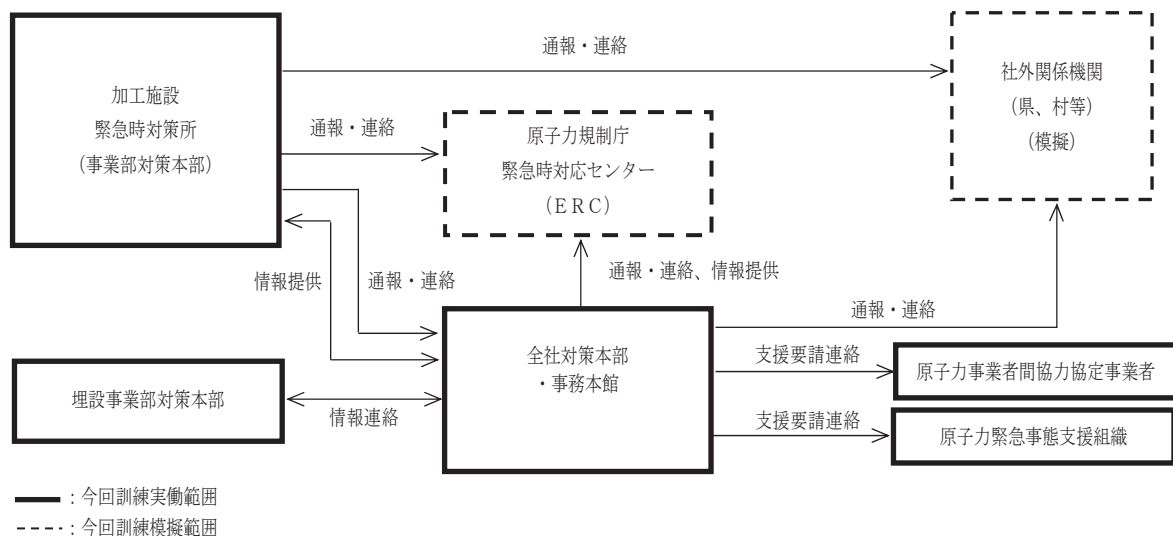
2022年11月8日（火） 13:30～15:00（予定）（反省会含む。）

(2) 対象施設

加工施設

3. 実施体制、評価体制および訓練対象者

(1) 実施体制



(2) 評価体制

各活動場所に評価者を配置し、評価者による評価および訓練終了後に訓練参加者による訓練反省会等を通じて、改善事項の抽出を行う。

(3) 訓練対象者

濃縮事業部対策組織要員のうち本部員、本部事務局

4. 訓練項目

総合訓練

5. 訓練内容

(1) 通報訓練

(2) その他必要と認める訓練

a. 事業部対策本部対応訓練

6. 防災訓練のために想定した原子力災害の概要

訓練シナリオ情報を含むため非公開

7. 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策のため、以下の対応を実施する。

- ・ 訓練参加者は、原則マスク着用とする。
- ・ 緊急時対策所内で活動する要員は可能な限り人数を制限して対応するものとする。
- ・ 緊急時対策所内は換気を実施するとともに、座席には可能な範囲で仕切りを設置する。

8. 添付資料

2 - (1) : 加工施設 防災訓練 第2部シナリオフロー

加工施設 防災訓練 第1部シナリオフロー (1/2)

| 時間 | ERC対応アース | 緊急時対策所 | 中央制御室 | 第1種管理区域 (モータールーム2号発回均質室) | 第1種管理区域 (管理廃水処理室) | 非管理区域 (補助建屋) | 非管理区域 (給食室) | 非管理区域 (補機室) | 屋外 |
|-------|----------|--------|-------|--------------------------|-------------------|--------------|-------------|-------------|----|
| 9:30 | | | | | | | | | |
| 9:40 | | | | | | | | | |
| 9:50 | | | | | | | | | |
| 10:00 | | | | | | | | | |

訓練シナリオ情報を含むため非公開

【確認ポイント①】
 機界オペレーション(事故、プラン)の状況、進捗手順と事故収束対応職務および職務
 の進捗状況)リアルタイムに情報共有できること

【確認ポイント②】(訓練全体の対応状況について確認)
 現場と緊急時対策所と連携を密に、あらかじめ定めた手順どおりに対応できること

加工施設 防災訓練 第1部シナリオフロー (2/2)

| 時間 | ERC対応ブース | 緊急時対策所 | 中央制御室 | 第1種管理区域 (モーターア～2号突回均質室) | 第1種管理区域 (管理廃水処理室) | 非管理区域 (補助建屋) | 非管理区域 (給気室) | 第1種管理区域 (1号均質室) | 屋外 |
|-------|----------|--------|-------|-------------------------|-------------------|--------------|-------------|-----------------|----|
| 10:10 | | | | | | | | | |
| 10:20 | | | | | | | | | |
| 11:00 | | | | | | | | | |
| 11:30 | | | | | | | | | |
| 12:00 | | | | | | | | | |

訓練シナリオ情報を含むため非公開

【検証センター①】
訓練すべての情報(事故・プラントの状況、進捗予測と事故収束対応戦略および戦略の進捗状況)をリアルタイムに情報共有できること

【検証センター②】(訓練全体の対応状況について監視)
現場と緊急時対策所と連携を図り、あらかじめ定めた手順どおりに対応できること

| 目安時間 | 事象発生 | 緊急時対策所 | | | |
|-------|------|----------------|--------------|---------------|------------------|
| | | ERO対応者 (実働) | 対策本部 (実働) | 本部事務局 (実働) | 各対策班 (コントローラ) |
| 13:30 | | | | | |
| 13:35 | | | | | |
| 13:40 | | | | | |
| 13:45 | | | | | |
| 13:50 | | | | | |
| 13:55 | | | | | |
| 14:00 | | | | | |
| 14:05 | | | | | |
| 14:10 | | | | | |

訓練シナリオ情報を含むため非公開

| 目安時間 | 事象発生 | 緊急時対策所 | | | |
|-------|------------------|----------------|--------------|---------------|------------------|
| | | ERO対応者 (実働) | 対策本部 (実働) | 本部事務局 (実働) | 各対策班 (コントローラ) |
| 14:15 | 訓練シナリオ情報を含むため非公開 | | | | |
| 14:20 | | | | | |
| 14:25 | | | | | |
| 14:30 | | | | | |
| 14:35 | | | | | |

【検証ポイント①】
AL、SE、GE通報(FAX送信)は、通報文チェックツールを用いて、記載の誤記、漏れ、等がなく速やかに通報できているか

【検証ポイント②】
25条報告を事象の進展に応じ、適切な間隔とタイミングで継続して実施できているか

【検証ポイント③】
適切なタイミングでEAL判断および防災体制を発令し、社内情報共有ツールによる情報共有ができていますか

前回訓練の訓練課題を踏まえた訓練実施計画等の策定

【濃縮事業部対策組織】

2021年度 原子力防災訓練において抽出した「COPの更なる改善」に対する改善活動状況は以下のとおりである。【第1部訓練および第2部訓練 共通事項】

| NO. | 改善活動内容 | | | 検証計画 |
|-----|--|---|---|---|
| | 今回の総合訓練において抽出した主な改善点 | 原因 | 対策/対応状況 | |
| 1 | <p>【問題】 ・COP②（設備概要図）に記載する設備の一部が、備付資料と整合が図られていなかったことから、ERCプラント班への説明時に誤解を生じる部分があった。</p> <p>【課題】 ①COP②（設備概要図）に抜けなく必要な情報を記載すること。 ②COP②（設備概要図）に記載する設備については備付資料と整合を図ること。</p> | <p>COP②（設備概要図）は概要図として必要な設備のみ記載して、COP作成者が追加記載するような様式としていた。</p> | <p>運転管理班は、ERC対応者が容易に説明できるよう、COP②（設備概要図）に記載する設備と備付資料に記載している設備との整合を図った。</p> | <p>検証計画：○</p> <p>・今年度の訓練にて実働することにより評価可能。 ・改善策の有効性を確認するための確認事項（チェックリスト）にて評価する。</p> |
| 2 | <p>【問題】 ・COP①（設備状況）は、入力時の文字の大きさが異なり、時系列で対処の詳細内容まで記載し小さく見づらかったことや、COP②（設備概要図）やCOP③（戦略シート）は、手書きなどで細かく記載しすぎていたため見づらく、わかりにくい部分があった。</p> <p>【課題】 ①各COPの視認性を向上させるとともに、誤解を招く記載を無くすこと。 ②COP②（設備概要図）およびCOP③（戦略シート）の視認性を向上させること。</p> | <p>①COP①（設備状況）は、1枚で事象進展や対策状況が把握できるようなシートにしていたため、フォントの統一や記載する内容の詳細な記載方法まで整理されていなかった。 ②COP②（設備概要図）およびCOP③（戦略シート）は、これまでの訓練を通じて、速やかに情報共有することを第1に考えて、作成してきたため、見やすさを意識した対応がなされていなかった。</p> | <p>①運転管理班は、COP①（設備状況）の表示方法やレイアウトを修正するとともに、記載方法に関する手順を定めた。 ②運転管理班は、COP②（設備概要図）およびCOP③（戦略シート）を電子化するとともに、記載方法に関する手順を定めた。</p> | <p>検証計画：○</p> <p>・今年度の訓練にて実働することにより評価可能。 ・改善策の有効性を確認するための確認事項（チェックリスト）にて評価する。</p> |
| 3 | <p>【問題】 ・COP③（戦略シート）は、戦略目的がどの事象対処に関するものであるのか分らぬものがあった。</p> <p>【課題】 ①-1 戦略の目的を記載すること。 ①-2 事象に対する戦略の優先順位がわかる記載とすること。</p> | <p>【原因】 ・事象毎に対する戦略および戦略の目的が分かるようなフォーマットになっていなかった。</p> | <p>・運転管理班は、事象毎に対する戦略および戦略の目的が分かるようにCOP③（戦略シート）を修正し、COPの記載方法に関する手順を定めた。</p> | <p>検証計画：○</p> <p>・今年度の訓練にて実働することにより評価可能。 ・改善策の有効性を確認するための確認事項（チェックリスト）にて評価する。</p> |